

第67期

報 告 書

自 平成27年 4 月 1 日
至 平成28年 3 月31日

株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申しあげます。

さて、当社第67期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業の概況をご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の設備投資の持ち直しなどを背景に緩やかな回復基調が続いておりますが、景気の先行きは中国をはじめとする海外経済の減速や原油価格下落、年明けからの急速な円高・株安進行など、不透明感の強い状況にありました。

このような状況下、当社グループは事業環境の好転を背景に受注量の確保、工事・販売原価管理の徹底に向けて努力してまいりました。

この結果、受注高は369億4千1百万円と、前連結会計年度と比べ25億1千2百万円（7.3%）の増加となりました。

売上高につきましては366億3千5百万円と前連結会計年度と比べ18億9千7百万円（5.5%）の増収となり、経常利益につきましては、工事原価管理の強化により30億8千5百万円と、前連結会計年度と比べ7億7千4百万円（33.5%）の増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、20億2千2百万円と、前連結会計年度と比べ5億2千3百万円（34.9%）の増益となりました。

今後は予断を許さない経営環境のもとで、当社は受注量の確保と収益構造の改善を主眼に ①技術力の一層の強化 ②戦略商品の拡販 ③労働生産性の向上 を最重要課題として鋭意推進してまいります。

特に戦略商品の拡販につきましては、太陽光発電屋根及び改修・塗装工事を重点に、なお一層努力してまいります。

当期中に実施いたしました設備投資の総額は2億6千8百万円であり、主として住宅及び長尺屋根部材の製造設備の新設・更新等であります。

株主の皆様におかれましては従前にもまして格別のご理解とご支援を賜りますよう、ひとえにお願い申しあげます。

平成28年6月

代表取締役社長 右田 裕之

財産及び損益の状況

企業集団の財産及び損益の状況

| 期別 項目 | 第 64 期 (24. 4～25. 3) | 第 65 期 (25. 4～26. 3) | 第 66 期 (26. 4～27. 3) | 第 67 期 (当連結会計年度) (27. 4～28. 3) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------------|
| 受 注 高 | — 百万円 | 34,871 百万円 | 34,429 百万円 | 36,941 百万円 |
| 売 上 高 | — | 33,049 | 34,737 | 36,635 |
| 経 常 利 益 | — | 1,453 | 2,311 | 3,085 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | — | 1,209 | 1,498 | 2,022 |
| 1株当たり当期純利益 | — | 30円63銭 | 38円86銭 | 52円43銭 |
| 総 資 産 | — 百万円 | 26,152 百万円 | 26,725 百万円 | 29,163 百万円 |
| 純 資 産 | — | 10,567 | 12,188 | 13,708 |

(注) 第65期より連結計算書類を作成しておりますので、第64期の各数値は記載しておりません。

当社の財産及び損益の状況

| 期別 項目 | 第 64 期 (24. 4～25. 3) | 第 65 期 (25. 4～26. 3) | 第 66 期 (26. 4～27. 3) | 第 67 期 (当期) (27. 4～28. 3) |
|------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| 受 注 高 | 31,582 百万円 | 34,871 百万円 | 34,184 百万円 | 36,690 百万円 |
| 売 上 高 | 29,085 | 33,049 | 34,493 | 36,385 |
| 経 常 利 益 | 770 | 1,453 | 2,320 | 3,058 |
| 当 期 純 利 益 | 105 | 867 | 1,509 | 2,004 |
| 1株当たり当期純利益 | 2円66銭 | 21円98銭 | 39円13銭 | 51円98銭 |
| 総 資 産 | 23,868 百万円 | 25,134 百万円 | 25,960 百万円 | 28,393 百万円 |
| 純 資 産 | 9,968 | 10,442 | 12,043 | 13,781 |

部門別受注高及び売上高

| | | 前期繰越受注高 | 当期受注高 | 当期売上高 | 次期繰越受注高 |
|-------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 当 社 | 長尺屋根 | 11,277百万円 | 26,614百万円 | 26,680百万円 | 11,210百万円 |
| | R — T | 358 | 658 | 646 | 370 |
| | ハイタフ | 1,067 | 3,500 | 3,172 | 1,395 |
| | ソーラー | 430 | 1,746 | 1,655 | 521 |
| | 小 計 | 13,133 | 32,519 | 32,154 | 13,498 |
| | 塗 装 | 111 | 394 | 453 | 52 |
| | 建 材 | — | 3,715 | 3,715 | — |
| | 売 電 | — | 61 | 61 | — |
| | 合 計 | 13,244 | 36,690 | 36,385 | 13,550 |
| 子 会 社 | 屋 根 部 材 | — | 250 | 250 | — |
| 企業集団合計 | | 13,244 | 36,941 | 36,635 | 13,550 |

(注)子会社：水上金属工業株式会社

会社の株式に関する事項（平成28年3月31日現在）

- ① 発行可能株式総数 120,000,000株
- ② 発行済株式の総数 38,563,402株(自己株式1,036,598株を除く。)
- ③ 当事業年度末の株主数 3,687名
- ④ 大株主

| 株 主 名 | 当社への出資状況 | |
|--|----------|----------|
| | 持株数 | (持株比率) |
| 新 日 鐵 住 金 株 式 会 社 | 6,229千株 | (16.15%) |
| 日 新 製 鋼 株 式 会 社 | 6,229 | (16.15) |
| 日 本 鐵 板 株 式 会 社 | 4,567 | (11.84) |
| 日 本 ト ラ ス テ ィ ・ サ ー ビ ス 信 託 銀 行 株 式 会 社 | 3,006 | (7.79) |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 899 | (2.33) |
| 大 久 保 敬 一 | 700 | (1.82) |
| 株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行 | 580 | (1.50) |
| 三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 会 社 | 500 | (1.30) |
| 資 産 管 理 サ ー ビ ス 信 託 銀 行 株 式 会 社 | 291 | (0.75) |
| 大 和 証 券 株 式 会 社 | 260 | (0.67) |

- (注) 1. 上記の持株数のうち信託業務に係る株式数は次のとおりであります。
 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 3,006千株
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 899千株
 資産管理サービス信託銀行株式会社 291千株
2. 当社は、三菱UFJ信託銀行株式会社及び株式会社三菱東京UFJ銀行の持株会社であります株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの株式180千株（出資比率0.00%）を所有しております。
3. 当社は、自己株式1,036,598株を保有しておりますが上記の大株主からは除いております。
4. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しており、持株比率は自己株式を除く発行済株式の総数に対する所有株式数の割合であります。

第67期の役員

当期中の役員は、次のとおりでありました。

| | | | | |
|-------------|---|---|---|--------|
| 代表取締役 社長 | 右 | 田 | 裕 | 之 |
| 専務取締役 | 吉 | 岡 | 成 | 十省 |
| 常務取締役 | 塩 | 田 | 康 | 海 |
| 常務取締役 | 北 | 澤 | | 進 |
| 常務取締役 | 吉 | 原 | 正 | 基 |
| 常務取締役 | 吉 | 井 | 郁 | 雄 |
| 取締役 | 利 | 根 | 川 | 操 |
| 取締役 | 堤 | | 孝 | 二 |
| 取締役 | 宮 | 崎 | 哲 | 夫 |
| 取締役 | 大 | 西 | 利 | 典 |
| 取締役 | 宮 | 楠 | 克 | 久 |
| 取締役 | 森 | 谷 | 英 | 之 |
| 常任監査役 | 大 | 村 | 欣 | 也 (常勤) |
| 常任監査役 | 栗 | 田 | 修 | 二 (常勤) |
| 監査役 | 野 | 口 | 博 | 司 |

- (注) 1. 取締役大西利典、宮楠克久、森谷英之の各氏は社外取締役であります。
2. 監査役大村欣也、野口博司の両氏は、社外監査役であります。
3. 取締役大西利典、宮楠克久、森谷英之の各氏及び監査役大村欣也、野口博司の両氏は、株式会社東京証券取引所の定める独立役員であります。
4. 当期中の主な取締役及び監査役の異動については次のとおりであります。
- ① 第66期定時株主総会の終結のときをもって取締役大内力男、右田彰雄、入江梅雄の各氏は任期満了により退任し、新たに宮崎哲夫、大西利典、宮楠克久の各氏が取締役に選任され就任いたしました。
- ② 第66期定時株主総会の終結のときをもって監査役松本宏之氏は任期満了により退任し、新たに栗田修二氏が監査役に選任され就任いたしました。

連 結 貸 借 対 照 表

(平成28年3月31日現在)

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|-----------------------------|---------------|------------------------------|---------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| | 百万円 | | 百万円 |
| 流 動 資 産 | 21,374 | 流 動 負 債 | 12,093 |
| 現 金 預 金 | 4,561 | 支 払 手 形 ・ 工 事 未 払 金 等 | 3,420 |
| 受 取 手 形 ・ 完 成 工 事 未 収 入 金 等 | 9,670 | 電 子 記 録 債 務 | 4,905 |
| 電 子 記 録 債 権 | 2,610 | 短 期 借 入 金 | 1,000 |
| 製 品 及 び 半 製 品 | 315 | リ ー ス 債 務 | 37 |
| 未 成 工 事 支 出 金 | 1,200 | 未 払 法 人 税 等 | 771 |
| 材 料 貯 蔵 品 | 687 | 未 成 工 事 受 入 金 | 393 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 166 | 賞 与 引 当 金 | 15 |
| 未 収 入 金 | 1,776 | 完 成 工 事 補 償 引 当 金 | 305 |
| そ の 他 | 391 | そ の 他 | 1,243 |
| 貸 倒 引 当 金 | △5 | | |
| 固 定 資 産 | 7,789 | 固 定 負 債 | 3,361 |
| 有 形 固 定 資 産 | 6,667 | リ ー ス 債 務 | 32 |
| 建 物 ・ 構 築 物 | 1,295 | 繰 延 税 金 負 債 | 58 |
| 機 械 ・ 運 搬 具 及 び 工 具 器 具 備 品 | 947 | 再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債 | 1,124 |
| 土 地 | 4,327 | 役 員 退 職 慰 労 引 当 金 | 179 |
| リ ー ス 資 産 | 30 | 訴 訟 損 失 引 当 金 | 32 |
| 建 設 仮 勘 定 | 66 | 退 職 給 付 に 係 る 負 債 | 1,929 |
| 無 形 固 定 資 産 | 96 | そ の 他 | 5 |
| リ ー ス 資 産 | 39 | 負 債 合 計 | 15,454 |
| そ の 他 | 56 | 純 資 産 の 部 | |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 1,025 | 科 目 | 金 額 |
| 投 資 有 価 証 券 | 228 | 株 主 資 本 | 12,166 |
| 関 係 会 社 株 式 | 23 | 資 本 金 | 1,980 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 503 | 資 本 剰 余 金 | 344 |
| そ の 他 | 271 | 利 益 剰 余 金 | 10,131 |
| 貸 倒 引 当 金 | △0 | 自 己 株 式 | △288 |
| | | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 | 1,542 |
| | | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 39 |
| | | 土 地 再 評 価 差 額 金 | 2,231 |
| | | 退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額 | △728 |
| | | 純 資 産 合 計 | 13,708 |
| 資 産 合 計 | 29,163 | 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 29,163 |

連 結 損 益 計 算 書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

| | | 百万円 | 百万円 |
|---|---|--------|--------|
| 売 | 上 | | |
| 高 | 高 | 31,565 | |
| 高 | 高 | 5,009 | |
| 高 | 高 | 61 | 36,635 |
| 売 | 上 | | |
| 原 | 原 | 24,546 | |
| 原 | 原 | 4,056 | |
| 原 | 原 | 35 | 28,638 |
| 利 | 利 | 7,018 | |
| 益 | 益 | 953 | |
| 益 | 益 | 25 | 7,997 |
| 費 | 費 | | 4,909 |
| 及 | 及 | | 3,087 |
| 營 | 營 | | |
| 外 | 外 | 7 | |
| 受 | 受 | 0 | |
| 貸 | 貸 | 0 | |
| 為 | 為 | 0 | 9 |
| そ | そ | | |
| 營 | 營 | 6 | |
| 支 | 支 | 3 | |
| 手 | 手 | 1 | |
| コ | コ | 0 | 11 |
| ミ | ミ | | 3,085 |
| ツ | ツ | | |
| ソ | ソ | | |
| 特 | 特 | | |
| 別 | 別 | 0 | |
| 固 | 固 | 0 | 0 |
| 定 | 定 | | |
| 資 | 資 | 46 | |
| 産 | 産 | 32 | |
| 除 | 除 | 4 | 83 |
| 却 | 却 | | 3,003 |
| 損 | 損 | | |
| 失 | 失 | 1,095 | |
| 引 | 引 | △114 | 981 |
| 当 | 当 | | 2,022 |
| 期 | 期 | | 2,022 |
| 純 | 純 | | |
| 利 | 利 | | |
| 益 | 益 | | |
| 親 | 親 | | |
| 会 | 会 | | |
| 社 | 社 | | |
| 株 | 株 | | |
| 主 | 主 | | |
| に | に | | |
| 帰 | 帰 | | |
| 属 | 属 | | |
| す | す | | |
| る | る | | |
| 当 | 当 | | |
| 期 | 期 | | |
| 純 | 純 | | |
| 利 | 利 | | |
| 益 | 益 | | |

連結株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

| | 株 主 資 本 | | | | |
|-------------------------------|---------|-------|--------|---------|--------|
| | 資 本 金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自 己 株 式 | 株主資本合計 |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 当 期 首 残 高 | 1,980 | 344 | 8,398 | △288 | 10,434 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △289 | | △289 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,022 | | 2,022 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額） | | | | | |
| 連結会計年度中の変動額合計 | - | - | 1,732 | △0 | 1,732 |
| 当 期 末 残 高 | 1,980 | 344 | 10,131 | △288 | 12,166 |

| | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 | | | | 純資産合計 |
|-------------------------------|-----------------------|----------|--------------|---------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 土地再評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 当 期 首 残 高 | 79 | 2,168 | △494 | 1,753 | 12,188 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △289 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 2,022 |
| 自己株式の取得 | | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額） | △40 | 63 | △234 | △211 | △211 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | △40 | 63 | △234 | △211 | 1,520 |
| 当 期 末 残 高 | 39 | 2,231 | △728 | 1,542 | 13,708 |

[連結注記表]

1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項に関する注記等

(1) 連結の範囲に関する事項

① 連結子会社の数及び名称

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称

水上金属工業株式会社

② 非連結子会社の名称等

非連結子会社の名称

株式会社深谷三晃、株式会社福知山三晃、有限会社江別三晃工作

連結範囲から除いた理由

非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結計算書類に重要な影響を及ぼしていないためであります。

(2) 持分法の適用に関する事項

持分法を適用しない非連結子会社の名称等

会社等の名称

株式会社深谷三晃、株式会社福知山三晃、有限会社江別三晃工作

持分法を適用しない理由

持分法を適用していない非連結子会社は、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分法に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても連結計算書類に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないためであります。

(3) 会計方針に関する事項

① 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式（非連結）…………… 移動平均法による原価法

その他有価証券…………… 時価のあるもの

連結決算日の市場価格等に基づく時価法

（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

②たな卸資産の評価基準及び評価方法

| | |
|-----------------|--------------------------------|
| 製品及び半製品、材料…………… | 移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法） |
| 未成工事支出金…………… | 個別法による原価法 |
| 貯蔵品…………… | 最終仕入原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法） |

③固定資産の減価償却の方法

| | |
|-----------------------|--|
| 有形固定資産（リース資産を除く）…………… | 定率法 ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については定額法によっております。 なお、耐用年数及び残存価格については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。 |
| 無形固定資産（リース資産を除く）…………… | 定額法 なお、耐用年数については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。 ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。 |
| リース資産…………… | 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。 |

④引当金の計上基準

| | |
|----------------|--|
| 貸倒引当金…………… | 営業債権等の債権に対する貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 |
| 賞与引当金…………… | 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当連結会計年度負担額を計上しております。 |
| 完成工事補償引当金…………… | 完成工事に係る瑕疵担保等の費用に備えるため、過年度の実績率を基礎に将来の支出見込を勘案して計上しております。 |

- 工事損失引当金…………… 受注工事に係る将来の損失に備えるため、当連結会計年度末手持工事のうち損失の発生が見込まれ、かつ、その金額が合理的に見積もることができる工事について、損失見込額を計上しております。
- 役員退職慰労引当金…………… 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末支給額を計上しております。
- 訴訟損失引当金…………… 訴訟に対する損失に備えるため、将来発生する可能性のある損失を見積り、必要と認められる額を計上しております。

⑤その他連結計算書類の作成のための重要な事項

- (イ) 退職給付に係る会計処理の方法…………… 退職給付に係る負債は、従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における見込額に基づき、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を計上しております。なお、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（13年）による定額法により費用処理しております。数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（13年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。
- (ロ) 収益及び費用の計上基準…………… 当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。
- (ハ) 消費税等の会計処理…………… 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

3. 会計方針の変更に関する注記

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。）、及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。）等を当連結会計年度から適用し、当期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

4. 連結貸借対照表に関する注記

| | |
|------------------------|--|
| (1)有形固定資産の減価償却累計額…………… | 10,984百万円 |
| (2)土地再評価法の適用…………… | 土地の再評価に関する法律（平成10年3月31日公布法律第34号）及び土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律（平成13年3月31日公布法律第19号）に基づき、事業用土地の再評価を行い、土地再評価差額金を純資産の部に計上しております。 |
| | 再評価の方法 |
| | 土地の再評価に関する法律施行令（平成10年3月31日公布政令第119号）第2条第3号に定める固定資産税評価額に基づき算出する方法によっております。 |
| | 再評価を行った年月日 |
| | 平成14年3月31日 |
| | 再評価を行った土地の |
| | 当連結会計年度末にお |
| | ける時価と再評価後の |
| | 帳簿価額との差額 |
| | 1,874百万円 |

5. 連結株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

| | 当連結会計年度期首の株式数(株) | 当連結会計年度増加株式数(株) | 当連結会計年度減少株式数(株) | 当連結会計年度末の株式数(株) |
|-------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 39,600,000 | - | - | 39,600,000 |
| 合計 | 39,600,000 | - | - | 39,600,000 |
| 自己株式 | | | | |
| 普通株式 | 1,035,626 | ※ 972 | - | 1,036,598 |
| 合計 | 1,035,626 | 972 | - | 1,036,598 |

※自己株式の増加株式数972株は単元未満株式の買取によるものであります。

(2) 剰余金の配当に関する事項

①配当金支払額等

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(百万円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|-------------|-------------|------------|------------|
| 平成27年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 289 | 7.5 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月29日 |

②基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当の原資 | 配当金の総額(百万円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|------------------------|-------|-------|-------------|-------------|------------|------------|
| 平成28年6月29日 定時株主総会予定 | 普通株式 | 利益剰余金 | 578 | 15.0 | 平成28年3月31日 | 平成28年6月30日 |

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

①金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については銀行借入による方針であります。

②金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である受取手形・完成工事未収入金等、電子記録債権及び未収入金は、顧客の信用リスクに晒されております。

投資有価証券である株式は、市場価格の変動リスクに晒されておりますが、主に業務上の関係を有する企業の株式であります。

営業債務である支払手形・工事未払金等及び電子記録債務は、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。借入金は、主に設備投資に必要な資金の調達を目的としたものであります。

③金融商品に係るリスク管理体制

(イ)信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

売上債権管理規程及び与信限度管理規程によって、取引先相手ごとの支払期日や債権残高を管理しております。また、営業部門が主要な取引先の状況を定期的にモニタリングし、経理部門との情報共有化を行いながら債務状況等の悪化による貸倒リスクの軽減に努めております。連結子会社についても、当社の債権管理規程に準じて、同様の管理を行っております。

(ロ)市場リスク（金利等の変動リスク）の管理

投資有価証券について定期的に時価や発行会社の財政状態等を把握しております。

(ハ)資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

経理部が適時に資金繰計画を作成・更新するとともに、手元流動性を維持することなどにより、流動性リスクを管理しております。

④金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成28年3月31日における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（(注2)を参照ください）。

(単位：百万円)

| | 連結貸借対照表 計上額 | 時価 | 差額 |
|-----------------------|----------------|--------|----|
| (1) 現金預金 | 4,561 | 4,561 | - |
| (2) 受取手形・完成工事未収入金等 | 9,670 | 9,670 | - |
| (3) 電子記録債権 | 2,610 | 2,610 | - |
| (4) 未収入金 | 1,776 | 1,776 | - |
| (5) 投資有価証券 その他有価証券 | 217 | 217 | - |
| 資産計 | 18,837 | 18,837 | - |
| (1) 支払手形・工事未払金等 | 3,420 | 3,420 | - |
| (2) 電子記録債務 | 4,905 | 4,905 | - |
| (3) 短期借入金 | 1,000 | 1,000 | - |
| (4) 未払法人税等 | 771 | 771 | - |
| 負債計 | 10,097 | 10,097 | - |

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金預金、(2) 受取手形・完成工事未収入金等、(3) 電子記録債権及び(4) 未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(5) 投資有価証券

これらの時価については、取引所の価格によっております。なお、投資有価証券はその他有価証券として保有しており、これに関する連結貸借対照表計上額と取得原価との差額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 種類 | 連結貸借対照表計上額 | 取得原価 | 差額 |
|------------------------|----|------------|------|----|
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの | 株式 | 178 | 108 | 70 |
| 連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの | 株式 | 38 | 41 | △3 |
| 合計 | | 217 | 149 | 67 |

負債

(1) 支払手形・工事未払金等、(2) 電子記録債務、(3) 短期借入金及び(4) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 投資有価証券及び関係会社株式に計上されている非上場株式（連結貸借対照表計上額はそれぞれ10百万円、23百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、金融商品の時価情報には含めておりません。

(注3) 金銭債権の連結決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

| | 1年以内 |
|----------------|--------|
| 現金預金 | 4,561 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 9,670 |
| 電子記録債権 | 2,610 |
| 未収入金 | 1,776 |
| 合計 | 18,619 |

(注4) 有利子負債の連結決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

| | 1年以内 |
|-------|-------|
| 短期借入金 | 1,000 |
| 合計 | 1,000 |

7. 1株当たり情報に関する注記

- | | |
|----------------|---------|
| (1) 1株当たり純資産額 | 355円49銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 52円43銭 |

8. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

| 資 産 の 部 | | | | 負 債 の 部 | | | |
|----------|--------|--------------|--------|--------------|--------|---------|-------|
| 科 目 | | 金 額 | | 科 目 | | 金 額 | |
| 百万円 | | | | 百万円 | | | |
| 流動資産 | | 20,951 | | 流動負債 | | 12,090 | |
| 現金預金 | 4,326 | 支払手形 | 857 | 電子記録債権 | 5,120 | 買掛金 | 1,041 |
| 受取手形 | 1,882 | 工事未収入金 | 7,128 | 短期借入金 | 1,377 | リース債権 | 35 |
| 電子記録債権 | 2,595 | 掛金 | 596 | 未払法人税等 | 759 | 未成工事支出金 | 1,205 |
| 完成工事未収入金 | 7,128 | 製品及び半製品 | 235 | 未払工事受入金 | 393 | 繰延税金資産 | 157 |
| 売掛金 | 596 | 未成工事貯蔵資産 | 662 | 完成工事補償引当金 | 305 | 繰上収入 | 1,775 |
| 製品及び半製品 | 235 | 繰上収入 | 1,775 | その他 | 1,199 | 貸倒引当金 | 390 |
| 未成工事支出金 | 1,205 | その他 | 390 | 固定負債 | 2,521 | 貸倒引当金 | △5 |
| 繰延税金資産 | 157 | 有形固定資産 | 7,441 | リース債務 | 29 | | |
| 繰上収入 | 1,775 | 建物 | 1,080 | 再評価に係る繰延税金負債 | 1,124 | | |
| その他 | 390 | 構築物 | 103 | 退職給付引当金 | 1,163 | | |
| 貸倒引当金 | △5 | 機械及び装置 | 819 | 役員退職慰勞引当金 | 167 | | |
| | | 車両運搬具 | 0 | 訴訟損失引当金 | 32 | | |
| | | 器具・備品 | 88 | その他 | 5 | | |
| | | 土地 | 4,144 | 負債合計 | 14,612 | | |
| | | リース資産 | 25 | 純資産の部 | | | |
| | | 建設仮勘定 | 66 | 科 目 | | 金 額 | |
| | | 無形固定資産 | 95 | 株主資本 | 11,510 | | |
| | | 繰上収入 | 39 | 資本剰余金 | 1,980 | | |
| | | その他 | 55 | 資本準備金 | 344 | | |
| 投資その他の資産 | 1,017 | 利益剰余金 | 9,474 | 利益準備金 | 495 | | |
| 投資有価証券 | 228 | 利益剰余金 | 8,979 | その他利益剰余金 | 8,979 | | |
| 関係会社株 | 33 | 固定資産圧縮積立金 | 6 | 固定資産圧縮積立金 | 6 | | |
| 破産更生債権 | 0 | 特別償却準備金 | 159 | 特別償却準備金 | 159 | | |
| 前払年金費用 | 305 | 繰越利益剰余金 | 3,450 | 繰越利益剰余金 | 3,450 | | |
| 繰延税金資産 | 181 | 繰越利益剰余金 | 5,364 | 繰越利益剰余金 | 5,364 | | |
| 繰上収入 | 270 | 自己株式 | △288 | 自己株式 | △288 | | |
| その他 | 270 | 評価・換算差額等 | 2,270 | 評価・換算差額等 | 2,270 | | |
| 貸倒引当金 | △0 | その他有価証券評価差額金 | 39 | その他有価証券評価差額金 | 39 | | |
| | | 土地再評価差額金 | 2,231 | 土地再評価差額金 | 2,231 | | |
| | | 純資産合計 | 13,781 | 純資産合計 | 13,781 | | |
| 資産合計 | 28,393 | 負債、純資産合計 | 28,393 | 負債、純資産合計 | 28,393 | | |

損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

| | | 百万円 | 百万円 |
|-------|-------------------------|------------|--------------|
| 売 | 完成工事高 | 31,565 | |
| | 製品売上 | 4,758 | |
| 売 | 電事業上 | 61 | 36,385 |
| | 完成工事原価 | 24,648 | |
| 売 | 製品売上 | 3,842 | |
| | 電事業上 | 35 | 28,526 |
| 販 | 完成工事総利益 | 6,916 | |
| | 製品売上総利益 | 916 | |
| 营 | 電事業上総利益 | 25 | 7,859 |
| | 販売費及び一般管理費 | | 4,798 |
| 营 | 営業外収益 | | 3,060 |
| | 受取配当金 | 7 | |
| 营 | 貸倒引当戻入 | 0 | |
| | 為替差益 | 0 | |
| 营 | その他費用 | 0 | 9 |
| | 支払外利息 | 6 | |
| 特 | 手形売却却損 | 3 | |
| | コミットメントファイナンス経常利益 | 1 | 11 |
| 特 | 特別利益 | | 3,058 |
| | 固定資産売却却損 | 0 | |
| 特 | ゴルフ会員権売却却損 | 0 | 0 |
| | 固定資産除却損 | 45 | |
| 特 | 訴訟損失引当金繰入 | 32 | |
| | ゴルフ会員権評価損 | 4 | 83 |
| 特 | 税引前当期純利益 | 1,083 | 2,976 |
| | 法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額 | △111 | 971 |
| 当期純利益 | | <u>972</u> | <u>2,004</u> |

株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

| | 株 主 資 本 | | | | |
|-------------------------|--------------|------------|------------|-----------|------------|
| | 資 本 金 | 資本剰余金 | 利 益 剰 余 金 | | |
| | | 資本準備金 | 利益準備金 | その他利益剰余金 | |
| | | | | 固定資産圧縮積立金 | 特別償却準備金 |
| 当期首残高 | 百万円 1,980 | 百万円 344 | 百万円 495 | 百万円 6 | 百万円 180 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | |
| 当期純利益 | | | | | |
| 税率変更に伴う固定資産圧縮積立金の増加 | | | | 0 | |
| 固定資産圧縮積立金の取崩 | | | | △0 | |
| 税率変更に伴う特別償却準備金の増加 | | | | | 3 |
| 特別償却準備金の取崩 | | | | | △25 |
| 自己株式の取得 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) | | | | | |
| 事業年度中の変動額合計 | - | - | - | △0 | △21 |
| 当期末残高 | 1,980 | 344 | 495 | 6 | 159 |

| | 株 主 資 本 | | | | |
|-------------------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| | 利 益 剰 余 金 | | | 自 己 株 式 | 株主資本合計 |
| | そ の 他 利 益 剰 余 金 | | 利益剰余金合計 | | |
| | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | | |
| 当期首残高 | 百万円 3,450 | 百万円 3,626 | 百万円 7,759 | 百万円 △288 | 百万円 9,795 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △289 | △289 | | △289 |
| 当期純利益 | | 2,004 | 2,004 | | 2,004 |
| 税率変更に伴う固定資産圧縮積立金の増加 | | △0 | - | | - |
| 固定資産圧縮積立金の取崩 | | 0 | - | | - |
| 税率変更に伴う特別償却準備金の増加 | | △3 | - | | - |
| 特別償却準備金の取崩 | | 25 | - | | - |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) | | | | | |
| 事業年度中の変動額合計 | - | 1,737 | 1,715 | △0 | 1,714 |
| 当期末残高 | 3,450 | 5,364 | 9,474 | △288 | 11,510 |

| | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|-----------------------------|------------------|--------------|----------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 土地再評価 差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 当 期 首 残 高 | 79 | 2,168 | 2,247 | 12,043 |
| 事業年度中の変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △289 |
| 当期純利益 | | | | 2,004 |
| 税率変更に伴う固定資産圧縮積立金の増加 | | | | - |
| 固定資産圧縮積立金の取崩 | | | | - |
| 税率変更に伴う特別償却準備金の増加 | | | | - |
| 特別償却準備金の取崩 | | | | - |
| 自己株式の取得 | | | | △0 |
| 株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額) | △40 | 63 | 23 | 23 |
| 事業年度中の変動額合計 | △40 | 63 | 23 | 1,738 |
| 当 期 末 残 高 | 39 | 2,231 | 2,270 | 13,781 |

[個別注記表]

1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社及び関連会社株式……………移動平均法による原価法

その他有価証券……………時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

製品及び半製品、材料……………移動平均法による原価法

(収益性の低下による簿価切下げの方法)

未成工事支出金……………個別法による原価法

貯 蔵 品……………最終仕入原価法

(収益性の低下による簿価切下げの方法)

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………定率法

(リース資産を除く)

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については定額法によっております。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

無形固定資産……………定額法

(リース資産を除く)

なお、耐用年数については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

リース資産……………所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金……営業債権等の債権に対する貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

完成工事補償引当金…完成工事に係る瑕疵担保等の費用に備えるため、過年度の実績率を基礎に将来の支出見込を勘案して計上しております。

工事損失引当金……受注工事に係る将来の損失に備えるため、当事業年度末手持工事のうち損失の発生が見込まれ、かつ、その金額が合理的に見積もることができる工事について、損失見込額を計上しております。

退職給付引当金……従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。なお、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（13年）による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（13年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

役員退職慰労引当金…役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

訴訟損失引当金…訴訟に対する損失に備えるため、将来発生する可能性のある損失を見積り、必要と認められる額を計上しております。

(5) 収益及び費用の計上基準…当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

(6) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……………消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

3. 貸借対照表に関する注記

| | | | |
|-------------------------|--|----------|--|
| (1) 有形固定資産の減価償却累計額…………… | 9,739百万円 | | |
| (2) 関係会社に対する金銭債権債務…………… | 短期金銭債権 | 0百万円 | |
| | 短期金銭債務 | 342百万円 | |
| (3) 土地再評価法の適用…………… | 土地の再評価に関する法律（平成10年3月31日公布法律第34号）及び土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律（平成13年3月31日公布法律第19号）に基づき、事業用土地の再評価を行い、土地再評価差額金を純資産の部に計上しております。 | | |
| | 再評価の方法 | | |
| | 土地の再評価に関する法律施行令（平成10年3月31日公布政令第119号）第2条第3号に定める固定資産税評価額に基づき算出する方法によっております。 | | |
| | 再 評 価 を 行 っ た 年 月 日 平成14年3月31日 | | |
| | 再評価を行った土地の当事業年度末における時価と再評価後の帳簿価額との差額 | 1,874百万円 | |

4. 損益計算書に関する注記

| | | | |
|-------------------------------|----------|----------|--|
| (1) 工事進行基準による完成工事高…………… | 5,621百万円 | | |
| (2) 関係会社との取引高 | | | |
| 営業取引による取引高…………… | 売上高 | 1百万円 | |
| | 仕入高 | 1,500百万円 | |
| (3) 一般管理費に含まれている研究開発費の総額…………… | 342百万円 | | |

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

自己株式の種類及び株式数に関する事項

| | 当事業年度 期首の株式数 (株) | 当事業年度 増加株式数 (株) | 当事業年度 減少株式数 (株) | 当事業年度末 の株式数 (株) |
|------|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 普通株式 | 1,035,626 | ※ 972 | - | 1,036,598 |

※増加株式数972株は単元未満株式の買取によるものであります。

6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位：百万円)

| 項 目 | 金 額 |
|--------------|------|
| (繰延税金資産) | |
| 事業税 | 51 |
| 貸倒引当金 | 1 |
| ゴルフ会員権減損 | 23 |
| 完成工事補償引当金 | 94 |
| 訴訟損失引当金 | 9 |
| 退職給付引当金 | 356 |
| 役員退職慰勞引当金 | 51 |
| たな卸資産評価損 | 5 |
| その他 | 10 |
| 繰延税金資産小計 | 603 |
| 評価性引当額 | △80 |
| 繰延税金資産合計 | 523 |
| (繰延税金負債) | |
| 前払年金費用 | △93 |
| その他有価証券評価差額金 | △17 |
| 特別償却準備金 | △70 |
| 固定資産圧縮積立金 | △2 |
| 繰延税金負債合計 | △184 |
| 繰延税金資産の純額 | 338 |

(追加情報)

「所得税法等の一部を改正する法律」及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」が平成28年3月29日に国会で成立したことに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算（ただし、平成28年4月1日以降解消されるものに限る）に使用した法定実効税率は、前事業年度の32.3%から、回収又は支払が見込まれる期間が平成28年4月1日から平成30年3月31日までのものは30.9%、平成30年4月1日以降のものについては30.6%にそれぞれ変更されております。

その結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）が17百万円、

再評価に係る繰延税金負債が63百万円減少し、当事業年度に計上されたその他有価証券評価差額金が0百万円、土地再評価差額金が63百万円、法人税等調整額が18百万円それぞれ増加しております。

7. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器、車両運搬具等の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約によっております。

8. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

| 属性 | 会社等の名称 | 議決権等の所有 (被所有) 割合 | 関連当事者 との関係 | 取引の内容 | 取引金額 (百万円) (注2) | 科目 | 期末残高 (百万円) (注2) |
|------|--------|------------------------|---------------------------|------------------------|-----------------------|--------|-----------------------|
| 主要株主 | 日本鐵板㈱ | 被所有 直接 11.86% | 屋根用原材料の 購入 役員の兼任 1名 | 表面処理鋼板等 の購入 (注1) | 3,054 | 電子記録債務 | 1,095 |

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 屋根用原材料の購入については、市場の実勢価格を検討の上、その都度価格交渉をして決定しております。

(注2) 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

9. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 357円37銭

(2) 1株当たり当期純利益 51円98銭

10. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

役員

(平成28年6月29日現在)

| | | | | |
|-------------|---|---|---|--------|
| 代表取締役 社長 | 右 | 田 | 裕 | 之 |
| 専務取締役 | 塩 | 田 | 康 | 海 |
| 常務取締役 | 北 | 澤 | | 進 |
| 常務取締役 | 吉 | 井 | 郁 | 雄 |
| 常務取締役 | 利 | 根 | 川 | 操 |
| 常務取締役 | 中 | 乗 | 敬 | 之 |
| 取締役 | 堤 | | 孝 | 二 |
| 取締役 | 宮 | 崎 | 哲 | 夫 |
| 取締役 | 大 | 西 | 利 | 典 |
| 取締役 | 宮 | 楠 | 克 | 久 |
| 取締役 | 森 | 谷 | 英 | 之 |
| 常任監査役 | 大 | 村 | 欣 | 也 (常勤) |
| 常任監査役 | 吉 | 原 | 正 | 基 (常勤) |
| 監査役 | 野 | 口 | 博 | 司 |

- (注) 1. 取締役大西利典、宮楠克久、森谷英之の各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役大村欣也、野口博司の両氏は、社外監査役であります。

会社の概要 (平成28年3月31日現在)

| | |
|---------|----------------|
| 設立 | 昭和24年6月16日 |
| 資本金 | 1,980,000,000円 |
| 発行済株式総数 | 39,600,000株 |
| 従業員数 | 436名 |

株主メモ

| | |
|--------|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月内 |
| 基準日 | 定時株主総会において議決権を行使することができる株主は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主とする。 |

| | |
|------------------------------|---|
| 株主名簿 管理 特別口座 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同送付先・連絡先 | 東京都江東区東砂7-10-11 (〒137-8081) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 |

| | |
|-------------------------|---|
| 電子公告を掲載する ホームページアドレス | 当社ホームページ http://www.sankometal.co.jp/ |
|-------------------------|---|

上場証券取引所 東京
(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

三晃金属工業株式会社

主要事業所

本社 (〒108-0023) 東京都港区芝浦 4-13-23 (MS 芝浦ビル) 電話 (03) 5446-5600
東京支店 (〒108-0023) 東京都港区芝浦 4-13-23 (MS 芝浦ビル) 電話 (03) 5446-5610
横浜支店 (〒231-0015) 横浜市中区尾上町5-77 (馬車道ウエストビル) 電話 (045) 681-1235
名古屋支店 (〒460-0008) 名古屋市中区栄 2-11-30 (セントラルビル) 電話 (052) 385-4562
大阪支店 (〒550-0001) 大阪市西区土佐堀 1-4-8 (日栄ビル) 電話 (06) 6444-9011
中国支店 (〒732-0828) 広島市南区京橋町9-21 (三共京橋ビル) 電話 (082) 264-7881
九州支店 (〒812-0011) 福岡市博多区博多駅前3-9-1 (大賀博多駅前ビル) 電話 (092) 441-3551
北海道支店 (〒060-0809) 札幌市北区北 9 条西3-19-1 (ノルテプラザビル) 電話 (011) 726-3551
東北支店 (〒980-0801) 仙台市青葉区木町通 1-8-28 (三栄木町通ビル) 電話 (022) 217-6680
深谷製作所 (〒366-0032) 埼玉県深谷市幡羅町 1-8-12 電話 (048) 572-3351
長田野製作所 (〒620-0853) 京都府福知山市長田野町 1-17 電話 (0773) 27-2251
滋賀製作所 (〒527-0154) 滋賀県東近江市園町 27-1 電話 (0749) 46-0291
江別製作所 (〒067-0051) 北海道江別市工業町 26-15 電話 (011) 383-7151